

授業科目名	特別教育活動(インターンシップ)		担当教員名	三上 聡子
必修/選択	必修	開講学年・学期	期間 (年間開講数 2講座)	
科目区分	その他の科目	単位数	1単位	
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	演習 / 単独	
		特記事項		
授業の到達目標	<p>総合実習（インターンシップ）の目標は、幅広い知識、技能を取得し、直接体験によって視野を拡大し、創造力を養うことである。</p> <p>(1)保育における創造性を養う</p> <p>①園生活の実際において、保育の手法や子どもたちとの関わり方等に触れる中で保育のイメージを豊かにする。</p> <p>②子どもたちの本質的な姿から柔軟な発想や考え方を学ぶ。</p> <p>③模倣からオリジナリティーを加えていく感覚を養う。</p> <p>④自分の創造力や創造性を保育の中で生かすことができる力を培う。</p> <p>(2)保育の専門職に求められる資質・能力を育成するために必要な教育を理解し、実践力・応用力の向上を図る。</p> <p>①幼児が主体的・対話的で深い学びを実現できるような環境構成や関りに十分配慮する。</p> <p>②話し方や目の配り方など保育を行う上での基礎的な技術を身に付ける。</p> <p>③子どもたちが興味・関心を高めたり見通しを持って主体的に活動する気持ちを持ち続けるために情報機器や視聴覚教材を活用して、幼児の体験との関連を考慮しながら、効果的に教材等を作成・掲示することができるようになる。</p>			
授業の概要	<p>総合実習（インターンシップ）は、より実践的な応用力並びに創造力を備えた職業人の養成を目標とする本校独自の実習である。</p> <p>日常の保育活動や年間を通じての様々な園行事にインターンシップ（職業体験）として参加し、教育実習・保育実習で培われる子ども理解の感覚を子どもたちとの自然な関りの中でより研ぎ澄まされたものにし、さらに幼稚園教育の目標、保育の理念、保育の方法、保育内容、保育者の援助等を体験的に深く学んで専門性と実践力を高めようとするものである。</p>			
テキスト	「実習ハンドブック」大阪教育福祉専門学校編著			
参考書・参考資料等	<p>「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)</p> <p>『月刊 保育とカリキュラム』(ひかりのくに)</p> <p>『よくわかる保育所実習』(創成社)</p> <p>新聞記事等</p>			
成績評価の方法	実習への出席状況、指定レポート提出による総合評価			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	事前指導（オリエンテーション） 総合実習（インターンシップ）における学習内容を充実させるための知識・技術を基にして「自己課題」を設定する。			
第2回	インターンシップ			
第3回	中間指導 総合実習（インターンシップ）における留意点の再確認や保育並びに子どもたちとの関りにおける具体的な内容の確認。			
第4回	インターンシップ			
第5回	事後指導 総合実習（インターンシップ）での経験を活かすために、園内行事における振り返りや実習報告などの達成内容を発表し、学生間での内容を共有すると共に自己の資質の向上を目指す。 総合実習（インターンシップ）全体の振り返り			
定期試験	定期試験は実施しない			